

RPPC メールマガジン 第 763 号

リサイクルポート推進協議会（平成 31 年 2 月 20 日発行）

■先週・今週の報道発表

先週・今週の報道発表はありません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

- ・「第 13 回海の再生全国会議」の開催案内を添付致しました。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 第 2 次補正予算、港湾局関係に約 596 億円配分
2. 港湾局・海事局、内航海運の活性化へ協議会
3. 博多港国際 C T 岸壁の延伸部事業の手続きへ

=====

◆リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 第 2 次補正予算、港湾局関係に約 596 億円配分

2 月 7 日に成立した 2018 年度第二次補正予算において、港湾局関係予算は約 596 億円（事業費ベース、ゼロ国債含む）となった。同予算は重要インフラの緊急点検結果を踏まえた「防災・減災、国土強靱化のための緊急対策」関連費の初弾となる予算が盛り込まれており、港湾局関係では約 361 億円が計上されている。全国主要港湾でコンテナ流出対策や耐震対策など、3 カ年で実施すべき対策のうち、初年度の対策として速やかに着手すべきものに予算配分している。

港湾局関係予算約 596 億円の内訳は、緊急対策が約 361 億円、その他喫緊の課題への対応が約 49 億円、ゼロ国債が約 184 億円、となっている。

.....

2. 港湾局・海事局、内航海運の活性化へ協議会

国土交通省港湾局と海事局は、内航フェリー・RORO 船の活性化に向け、内航海運事業者等と連携して、ハード・ソフト施策を戦略的に推進していく。今年度は内航海運関係者等へのヒアリングを開始しており、得られた課題を具体的に議論するため、来年度に官民で構成する協議会を設置し、船舶の大型化への対応、必要な港湾施設整備等の検討を行う予定。

内航フェリー等は、将来的なトラックドライバー不足への懸念や、豪雨・地震災害時の機動力の観点から、活用拡大が期待されている。最近では内航海運事業者は船舶更新に併せた大型化・高質化、新規航路の開設など、意欲的な動きもみられている。

一方、これら輸送力の強化のためには、発着地双方の港湾の港湾施設の共通化などの環境整備や、新技術の適用が必要であると考えられている。

.....

3. 博多港国際CT岸壁の延伸部事業の手続きへ

九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所は、博多港アイランドシティ地区マイナス15m国際コンテナターミナルの岸壁延伸事業で、契約が残っているジャケット2基の製作・据付等工事の入札手続きを開始した。これにより、同岸壁の延伸部本体は整うことになり、32年度にコンテナレールや上部工としての床版の製作・据付、舗装などを別件工事で調達・整備し、同ふ頭の供用へと進めていく。

博多港アイランドシティ地区の国際コンテナターミナルは、C1バース（水深14m、延長330m）とC2バース（水深15m、延長350m）の合計2バースが機能しているが、博多港はコンテナ貨物の増加が続いており、一部に滞船が発生するなど非効率な取り扱いになっている。

このため現行の港湾計画に位置付けられている水深15m第2バースの整備への要請が高まり、今年度から暫定延長ながら210m分について整備事業が始まっている。

【港湾空港タイムス2月18日号から編集】

////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。
開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。